

Webコンテンツに対する反応を提示するデバイスの開発

浦野羅馬, 池田亨平, 佐々木毅(芝浦工業大学)

概要:

Webコンテンツに設置しているソーシャルネットワークサービス(SNS)のボタンの反応を提示するデバイスの開発を行いました。

特徴:

- ◆いいね!ボタンの反応数を取得
- ◆パラメータによって提示する方法を切り替えが可能

インタフェース:

1. sendInfoコンポーネント:

コンフィグレーションパラメータに反応を取得するUFを設定し、出力ポート(TimedString型)より送信する

2. faceGetValコンポーネント:

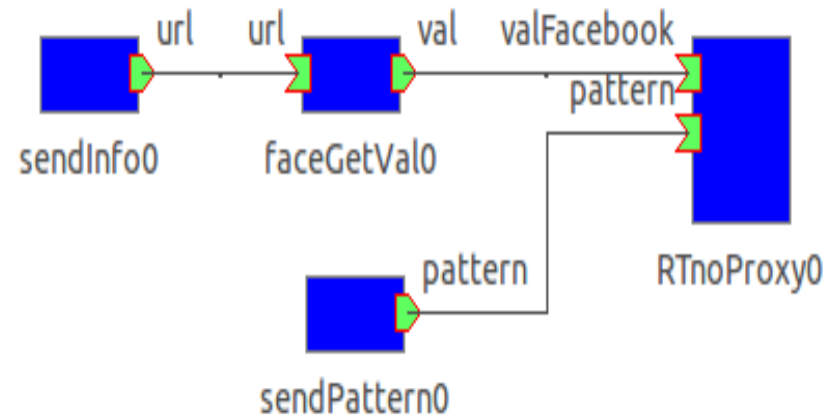
入力ポートからURLを受け、でコンテンツへアクセス後、Facebookのいいね!ボタンを解析する。指定の反応数を取得し、出力ポート(TimedDouble型)へ書き込む

3. sendPatternコンポーネント:

提示方法パターンをコンフィグレーションパラメータで設定し、出力ポートへ書き込む

使用RTMバージョン:

OpenRTM-aist-Java-1.0.0-RELEASE



連絡先:

浦野羅馬(y09110@shibaura-it.ac.jp)

プロジェクトページURL:

http://www.openrtm.org/openrtm/ja/project/contest2013_1B2-1

ダウンロードページURL:

<http://www.sic.shibaura-it.ac.jp>

講演番号: 1B2-1

いいね!スピーカ



Fig.1 いいね!スピーカ

コンテンツの反応に対する不安感の解消

作業率の向上